

# かさかけ 公民館だより

編集  
笠懸公民館編集協力員会  
みどり市笠懸公民館  
発行  
みどり市笠懸公民館  
〒379-2311  
みどり市笠懸町阿左美1581-1  
電話：0277-76-2211  
FAX：0277-76-2836  
Eメール：kouminkan  
@city.midori.gunma.jp

## 3年振り開催！ 笠懸地域文化祭

新型コロナウイルスの影響で2年間で中止だった笠懸地域文化祭が、3年振りに笠懸公民館とグンエイホールPALで、10月15日(土)・16日(日)に開催されました。2日間で約3500人と、例年より多い来場者でにぎわいました。今回はコロナ禍での開催のため、感染対策をとりながらの実施でした。



▲大勢の来場者

今回、感染防止対策として、会場への入口を1箇所にし、検温や手指消毒を行い、検温済の来場者にはリストバンドを配布しました。また、展示の開催時間の短縮や飲食専用スペースの設置、パルの座席を半分とするなど、参加団体に役割分担をしながら協力して文化祭の運営を行いました。



▲検温済のリストバンド配布

60団体・個人が参加し、他の団体と久しぶりに顔を合わせ、話が弾む様子があちこちで見られました。

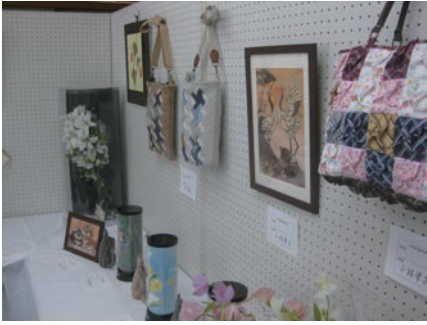
文化祭実行委員長の高野富由美さんは、「今回文化祭が開催でき本当に良かったです。参加団体は少なかったものの、来場者数は両日合わせて約3500人をお迎えし、たくさんの方の笑顔が見られました。来年も開催できるといいなあ」と話していました。



▲芝生に座ってくつろぐ来場者

文化祭のようすは

次のページへ



力作が約 700 点！



3年間の練習成果を出し切る！



模擬店や体験などイベント盛りだくさん！



# 運動会とハロウィンパーティー

## お母さんと一緒教室

第7回「お母さんと一緒教室」が、10月21日(金)公民館芝生広場で開催されました。今回は運動会です。運動会終了後は、ハロウィンパーティーも待っています。朝は少し寒かったけれど雲一つ無い青空で、運動会日和となりました。



▲みんなで玉入れ

準備体操の後は元気に「かけっこ」です。ゴール目指してよいいどん!! 途中右に曲がったり戻ったり、かわいい子どもたちの走りに、大きな拍手と応援の声が広場に響きます。それから「おかしとり競争」や「風船とり」「玉入れ」などの競技も行われました。最後は綱引きです。2つの



▲魔女のプレゼント

チームに別れ、お母さんたちも負けじと頑張ります。子どもたちと一緒に汗を流した後は、公民館ロビーに場所を移し、ハロウィンパーティーをしました。

公民館職員が魔女に扮し、お菓子を持って現れると皆びびくり!! 大いに盛り上がりましたが、ちよっぴり怖くて泣く子もいました。

運動会日和りで芝生の上を走り回り、またハロウィンパーティーではかわいいかぼちゃの形をした入れ物に沢山のお菓子もいただきました。

笑顔いっぱいのまま、第7回「お母さんと一緒教室」は終了しました。



いつも庭いっばいに季節の花を咲かせている長谷川一男さん(2区在住)宅に伺いました。10月末、庭には、シソの仲間のコリウスという様々な形や色とりどりの葉が、花に負けない華やかさで並んでいました。

約30年前から始めたというガーデニング。種まきから始め、芽が出たら苗ポットに移し、子育てのように手間ひまかけて花を咲かせるとのこと。季節ごとにパンジー、キンセンカ、つりがね草、百日草、スイセン、ゆりなどが家の周りを埋めつくすそうです。ミニフラワーパークのようです。「カタログを見ながら、予算に合わせて、種や土を選んだり、まく時期を考えるのも楽しみなんだ」と嬉しそうに話していました。コリウスの脇には次の苗が出番を待っていました。一男さんがほとんどの作業を行い、奥様は「水やりや摘花を手伝うくらいなの

よ」と。庭の片隅に今回初めて「ゴデチア」の種をまいたそうで、かわいい芽が出ていました。花のあがる暮らし、すてきですね。通るたびきれいな花が見られるので楽しみです。



▲きれいに並んだコリウス

## おじやましましす サークル紹介

4年前、フラダンス経験者3人が練習と健康増進のため立ち上げた「フラ・レイモミ」。文化祭や桐生で開催しているフラピクニックにも参加しているそうです。

きれいな髪飾りやレイを着け、音楽に合わせて基本のステップから始まります。

動きに意味があり、新しい曲を覚える時はボケ防止にもなるとのこと。お楽しみでホテルでランチやクリスマスパーティもしているとのこと。講師の桑原さんは「身体も頭も使い、健康で楽しいのが一番!」と笑って話してくれました。

背筋がピンとして細やかでしなやかなダンスと音楽に癒されました。(見学OK)



▲フラ・レイモミ

会員数 10人(50〜70歳代)  
活動日 第1・第3水曜日 午後3時〜  
会費 1500円/月  
代表 亀井好枝さん

## 3年ぶりの笠懸まつり

### 桐生競艇場で開催

新型コロナウイルスの影響で中止が続いていた笠懸まつりが11月5日(土)、ポーターレース桐生を会場に開催されました。

まつりは、南ウイング側の東貯水池と屋外一般席の間のアスファルト上に湖面側には中央に水上ステージが設けられ、南北から挟む形でテントが並びJAや商工会の人たちによる売店が並び、一般席側には各行政区用にテントが建てられています。

ステージでは八木節や笠懸太鼓の演奏や、子どもダンス八木節や女性たちによる笠懸音頭の踊りの披露などがありました。やはり実施する人たちの顔には久しぶりの祭りに笑顔が浮かんでいました。

またシルク・ド・ソレイユで世界中を駆けた奥澤秀人氏と元K・BALLET COMPANYのバレエダンサーの白石あゆ美氏が繰



▲来場者で賑わうまつり会場

り広げるアクロバットパフォーマンス「IGNIS DE ORNIS」、笠懸第2区の秋葉神社へ奉納されている横町太々神楽、沢入国際サーカス学校のパフォーマンスなどが披露されました。そして夜は、数十個の熱気球を空中に漂わせるスカイランタンで幻想的に彩り、ファイナルは湖面花火で競艇場の水面をきれいに飾り閉幕しました。

笠懸まつり翌日の11月6日(日)は「ゴミ拾いはスポーツだ!」としてポーターレース場周辺でゴミ拾いをしました。

### 笠懸東小学校

#### 3年生が公民館見学

笠懸東小学校の3年生73人が10月27日(木)、笠懸公民館の施設見学に訪れました。子どもたちは、職員の説明を受けながら館内を回りま

した。公民館には、2つの部屋がつながる部屋、大きな鏡、陶芸窯などめずらしいものが色々あり、子どもたちから驚きの声が上がっていました。また、利用者です

違つと館内で普段なかなか聞くことのできない子どもたちの元気なあいさつが響きました。

音楽室1を見に行くと、体操のサークルが活動していたので、少し見学させてもらいました。子どもたちは、活動の様子に興味津々に眺めていました。

館内を回りきると質問の時間です。「働いている人は何人ですか」「何のために作られましたか」などの質問に、館長が答えました。笠懸公民館はみどり市に住



▲音楽室1で体操のサークルを見学

んでいる人は誰でも使える施設なので、ぜひまた来てくださいね。

### 46年振り開催

#### 大相撲桐生場所

46年振りに大相撲桐生場所が10月28日(金)に桐生ガススポーツセンター(桐生市民体育館)で晴天の下、開催されました。

この大相撲桐生場所にコラボしたのが「着物de大相撲」。大人はもちろんのこと、中高生の皆さんにも着物を着て相撲を観戦して欲しいという着物のレンタル

業界の人たちの思いから、無料で招待した100人を超える子どもたちが参加しました。

「初切り」「土俵入り」「弓取の式」など、観戦者を楽しませてくれる力士の皆さん。目の前で観る取り組みの迫力、体と体のぶつかる音は会場に響いていました。

#### 「まめ知識」

「ちゃんこ」とは、力士が作る全ての料理のことです。「ちゃん」は父(師匠)、「こ」は子(弟子)で一緒



▲迫力ある取組み

に食べることから名付けられました。

# 実りの秋を楽しむ 岩宿の里米っこクラブ

「岩宿の里 米っこクラブ」は岩宿の里公園内古代米水田で10月8日(土) 第4回 稲刈り、はぜ掛け、10月29日(土) 第5回 脱穀を行いました。

両日とも晴天に恵まれ、子どもたちは、たわわに実った稲を慣れない手つきで鎌を使って刈り取っていました。作業の後半では大人も手伝い刈り取った稲を束ねてはぜ掛けをしました。後日、天日干しをした古代米の脱穀を昔ながらの農具、千歯こきや足踏み脱穀機、唐箕とうみを使って行いました。今まで持ち帰りだったお



▲刈ったぞ！



▲はぜ掛けして天日干し

昼ご飯も今回は水田の隣の芝生広場にシートを敷いてみんなで食べました。第4回のメニューは山形の郷土料理芋煮と新潟の棚田で作られた新コシヒカリのおにぎり、冬瓜のひき肉あんかけでした。第5回のメニューは古代米で作った餅ピザ、サトイモのクリームシチューでした。



▲千歯こきで脱穀

## 秋祭りにぎわう

### 2区生品神社

生品神社本殿（笠懸第2区）の保存工事と拜殿、境内の整備事業が完了し、それを祝って「秋祭り」が11月3日(木)に生品神社境内で開かれました。

本殿は江戸中期の元禄7（1694）年に建てられ、市内最古の寺社建築として、

みどり市指定重要文化財に指定されています。60数年ぶりの一般参加の「秋祭り」には、地元の人たちがたくさん集まりました。式典の後、横町太々神楽の舞や、フラダンス、八木節、フラメンコ、沢入サークス学校の大道芸などが披露され、拍手や歓声で賑わいました。昔を知る年配の方たちは昔話に花を咲かせていました。「地元でも

いよつだ。一般的な分類としては、比較的大きく、尾は短く、足が太い種類を「鷲」。比較的小さく、足と尾が長く、翼が丸い種類を「鷹」と呼んでいる。鷹の全長は50〜60センチぐらい、鷲の全長は80〜100センチぐらいが目安となる。

## コラム 豆電球

### 「鷲と鷹ってどう違う？」

なんとなく混同して使われているふたつの名称だが、どこが違うかわからない。明確に答えられる人は少ないようだ。

英語でいえば鷲はイーグルで鷹がホーク。英語でもしっかりと区別されているくらいだから、まったく違う種類の鳥といいたいところだが、実は鷲も鷹も猛禽類タカ科の鳥で、分類上の区別はな



いよつだ。

この2つの違いは大きさだけのようだ。しかも「だいたい翼長50センチ以上のものを鷲と呼び、それ以下のもを鷹と呼ぶ」というかなりの曖昧さだ。どのくらい曖昧なのかといえ

神楽を見るのは初めてなので来た」と話す人もいました。



▲完成記念式典の様子



たとえば英語でイーグルと呼ばれている鳥が、日本語では鷲という名前だったりするくらいの曖昧さだ。ちなみに「ピーヒョロロ」と鳴くトンビは翼長50センチと、区分けざりざりのサイズだが、一応鷹の仲間とされているようだ。

# 山の中を駆け巡る

## 草木湖マラソン

豊かな自然を楽しめるこの季節、第43回草木湖マラソン大会が10月30日(日)太陽の光が燦々と降りそそぐ中開催されました。種目は、

◇ハーフマラソン男子

高橋英雄 (神奈川県)

◇ハーフマラソン女子

高柳敦子 (伊勢崎市)

◇12 km男子高校生〜39歳

大山聡 (神奈川県)

◇12 km男子40歳代

尾崎勝海 (高崎市)

◇12 km男子50歳代

神長忠信 (埼玉県)

◇12 km男子60歳以上

大沼和久 (栃木県)

◇12 km女子高校生〜39歳

新沢麻耶子 (高崎市)

◇12 km女子40歳代

稲垣ひとみ (桐生市)

◇12 km女子50歳代

織田真子 (栃木県)

◇12 km女子60歳以上

青柳早苗 (栃木県)

敬称略

「各種目の優勝者」



▲ゴールに向かうランナー



▲山中を疾走

# こえのひろば

## 投稿

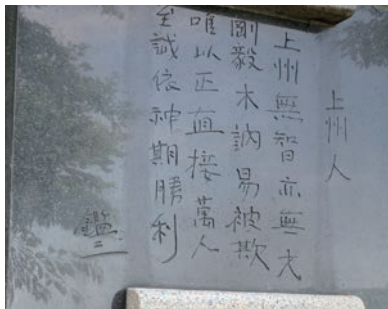
上毛かるた(㊀)

御朱印レディー

「心の燈台 内村鑑三」

内村鑑三は、父親が高崎藩士だったため、5〜8歳と10歳〜12歳の幼少期に高崎に住んでいました。

内村鑑三の功績は、日本を代表するキリスト教伝道者であり、足尾鋳毒事件の反対運動にも参加していたことです。内村鑑三の執筆



▲内村鑑三詩碑

このコーナーは、市民のみなさんの交流の場です。サークルの会員募集やイベントのお知らせ、投稿など、何でも原稿をお寄せください。(しめきり毎月10日)



▲頼政神社

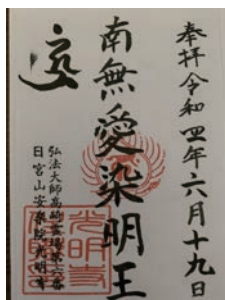
の中で、私が感銘を受けた『代表的日本人』では、海外の人へ、日本人(西郷隆盛・上杉鷹山・二宮尊徳・中江藤樹・日蓮)の素晴らしさを伝えていきます。正に「心の燈台」ではないかと思えます。

高崎城址公園に隣接する頼政神社の境内には内村鑑三詩碑があります。そこには「上州人」の漢詩が刻まれ、この上州人というのは自分自身のことでもあることが日記からうかがえます。そしてこの漢詩を詠んだの

は、公園のすぐ側にある日宮山光明寺の先祖の墓参りをした後のことだそうです。

「鑑三の有名な言葉」

我は日本のために  
日本は世界のために  
世界はキリストのために  
そして、すべては神のために



▲内村家の墓石がある日宮山光明寺の御朱印

新型コロナウイルス  
感染対策にご協力  
をお願いします。



みどモス

### 列車にゆられて(57) 福井鉄道

野利 哲

福井鉄道は福井市内の田原町駅を起点に越前武生駅までの20・9kmと福井城址大名町―福井駅前までの0・6km、合わせて21・5kmの路線です。

田原町駅を出た列車は途中、花堂駅まで複線区間、そして赤十字前駅まで軌道区間で道路併用となっています。途中、福井駅方面との分岐があり、時間によっては駅に寄らずに越前武生まで直行します。赤十字前駅からは専用線を走り、北



▲福井鉄道

陸本線とほぼ平行に終点まで向かい、田園地帯を軽やかに電車は走ります。その横には北陸新幹線の延伸工事が進められています。新幹線が開通した暁には北陸線も第三セクターの鉄道になってしまうのでしょうか。大半が無入駅で日曜日のためか乗降客は数えるほどでした。この路線、急行列車が走っていました。1時間に各駅停車2本、急行1本が設定されていました。田原町駅はえちぜん鉄道の接続駅です。以前は線路が繋がっていませんでした。現在はフェニックス田原ラインと呼び、越前武生駅からえちぜん鉄道の鷲塚針原駅までを結んでいます。車両は低床車両のKi-boといい、福井鉄道相互直通運転の専用車両として導入されたとあります。斬新なデザインで乗り心地満点の車両でした。

また、越前武生駅構内で見かけた案内では、越前武生駅の駅名が利用者の人へのアンケートの結果、近いうちに新武生駅と改名されますとの掲示がありました。運賃  
田原町駅―越前武生駅  
片道400円  
1日フリー切符 560円  
(土・日・祝限定)  
お得な1日フリー切符  
えちぜん鉄道との共通フリー切符 1400円  
(土・日・祝限定)



▲ Ki-bo 低床車両

### 防災を考える ⑳

#### 冬の備え

今年の冬は平年より気温は低め、降雪量は平年より多くなる確率が40%となっています。毎年の事ですがこの時期は早めの冬の備えをお願いします。冬用タイヤの履き替え、雪かき道具の準備、非常持ち出し袋の中身も点検を兼ねて冬仕様に防寒具や毛布、厚手の靴下、使い捨てカイロ、リップクリーム、ハンドクリーム、非常食にも高カロリー

―なもの、チョコレート、ナッツ、ようかん、のど飴等を追加してください。政府からの節電要請や電気代の上昇も気になります。大規模停電などの災害に備えてランタン、懐中電灯、モバイルバッテリー、石油ストーブやカセットコンロ、発電機など・・・。キリがありませんが冬に停電すると命の危険もあります。無理せず、できる限り備えていきましょう。



### 笠懸短歌サークル

十月例会より

養護の児等一途に鳴らす和太鼓が祭り盛り上げ山に響く  
ダイエット成功の裡に夏は過ぎ実りの秋が音もなく来る  
秋風が草の群揺らすゴーヤ棚黄の実一つがはかなく下がる  
二度咲きのジャズミンは亡母の挿し木から古木となりぬ花との会話  
海を来て隠岐なる島に今し立つ遠世天皇も流されし地に  
休刊の翌朝にして倍の量のおくやみ欄に友の名のあり



- 上村 征子
- 加藤 康子
- 久保田茂子
- 近藤ふさ子
- 関口 定夫
- 平山 勇

テクテクお城歩き(34)

増山城 歩遊人

増山城は富山県砺波市にある続日本100名城のひとつです。広大な山城で築城は不明ですが、資料によれば越中守護畠山氏の守護代として神保氏が長く支配したといい、15世紀後半、増山城を支城として整備したという。神保氏は勢力拡大を図って新川郡に進出して富山城を築城。やがて新川郡の椎名氏を圧迫したので新川郡の支配を任せていた長尾景虎(後の上杉謙信)が神保氏を討つため越中に進軍。増山城に逃げた



▲増山城全景



▲復元された増山陣屋

が景虎に包囲され逃走。都合、上杉謙信は増山城を3度攻撃しているという。

謙信没後は金沢御堂を撃破した織田信長勢によって攻められ、越中平定を果たした佐々成政の支配下となったという。後に前田利家の重臣、中川光重が城を守ったという。

増山城のポイントとして、富山県内に400以上ある城で越中三大山城といわれる、増山城、守山城(高岡市)、松倉城(魚津市)のひとつ。増山城は亀山城(三角点あり標高1333m)、孫次山砦、赤坂山屋敷、団子地山屋敷から成り城壘群が作られているという。

四季の会 十一月句会



残されし先祖の田んぼ麦を蒔く  
洗濯と干し柿百個しなる軒  
牧閑さす高原も風柔らかし  
木守り柿音響好きの兄と居り  
ハロウインのケーキをねだる子の笑顔  
青のりを少しふりかけとろろ汁  
キャンバスは紅葉の彩に染まりたる  
どことなく亡夫と似たり冬の蝶  
落ち葉踏みおみくじを引く二人連れ  
断崖に見上ぐ奇岩や冬もみち  
雨漏りの修理が終わる菊の月  
すがれ虫声も小さくなりけり  
水陸を自由に走る紅葉谷  
孫のごとやさしく咲ひて冬の薔薇  
町中のイベント始む文化の日  
枯れ蟻螂猫のおもちやと成りにけり  
菊なます仏の父に供へをり  
母と伯母さそひて行くや紅葉狩り  
軽井沢狐と出会ふ七曲り  
譜ずる上毛かるた文化の日  
久に行く生家の垣の萩を刈る  
菊なます今日は届くかケアハウス  
ストーブの前を陣取る犬二匹  
夫を連れ実家の柚子を取りゆかむ  
久にとる夫婦で休む神無月  
あけび食ふ皮の天ぷらほろ苦き  
夫と観る木の葉しぐれの庭の景  
うたた寝のこたつの孫に声をかけ  
木の葉髪すひて寂しき黄楊の櫛  
庭の枇杷伐るには惜しむ蕾かな  
鴨の数日増しに増ゆる三方五湖  
冬桜寂しく咲ひて忌を知らず

- |       |      |      |      |      |      |       |      |      |       |      |      |      |     |      |     |      |     |      |      |      |     |      |      |      |      |      |      |      |       |      |      |     |
|-------|------|------|------|------|------|-------|------|------|-------|------|------|------|-----|------|-----|------|-----|------|------|------|-----|------|------|------|------|------|------|------|-------|------|------|-----|
| 国木美代香 | 中野千鶴 | 宮本風花 | 糸井良俊 | 松島陽春 | 平川秋桜 | 佐藤由美香 | 高野春蝶 | 山本草秋 | 荒井鳳仙花 | 金井英磨 | 高野光詢 | 糸井佳酔 | 富田和 | 前原紫蘭 | 童鳥海 | 糸井梅光 | 横倉雅 | 韓百日紅 | 新羅光海 | 石原青蓮 | 冠二郎 | 徳田夕子 | 村田紅蘭 | 糸井初音 | 小林狐一 | 吉田和義 | 小林華笑 | 榎沢春蘭 | 宇野由希子 | 村田小町 | 宇野勘大 | 金光月 |
|-------|------|------|------|------|------|-------|------|------|-------|------|------|------|-----|------|-----|------|-----|------|------|------|-----|------|------|------|------|------|------|------|-------|------|------|-----|

ちょっと一息



家では犬を飼っていた。飼う時は面倒を見る手間を考えるといつも1匹だった。最後に飼った犬が亡くなつてから早数年が過ぎていく。たまに妹が犬を連れて遊びに来るが、母は楽しんで眺めている。ペットとして飼いたいだろうことは想像に難くない。

記憶に強く残っているのは一代前の犬だ。いや、犬にというより、父の見せた姿にだ。犬は首輪が切れて逃げ出してしまい、父は方々を探したが見つからず、見つかったのは自動車にはねられて死んだ後だった。事故現場の近くに住んでいる人に状況を聞きながらいつかなかば泣き声で話している父を見て密かに驚いた。そんな父を見たのは初めてだった。今は軽い認知症でそんな素振りを全く見せない父だが、かつてはそんな父もいたのだと思う。

春